

# 踏み跡 <My Mountains>

会津の山に深い関心を持つようになってもう何年になるだろうか。閑暇な時に何気なく地図やロードマップを眺めることが多いが、それが会津地方であることが多い。

幾重にも山が折り重なった会津には峠路が沢山ある。峠路を辿って見ているうちに、湿原のマークが随所にあることに気がついた。尾瀬のように名のある湿原はさておき、こんな所にこんな湿原が・・・を探し歩いてみたいと思うようになった。

房総の真夏の過酷な暑さの中を走る「岩井ロードレース」にエントリーしていたが、足の調子が今ひとつなので欠場することにして、かみさんと次女とでゆったり歩く旅に切り替えることにした。

平成3年8月25日

ぶらり旅に近いので時間的な記録は一切取らなかった。天気は快晴。

会津へのルートとして、塩原温泉から尾頭トンネルを抜けて上三依へ抜けるルートができた。これまでの今市・鬼怒川経由に比べるとかなり楽になり、会津田島まで4時間で入れそうなペースだった。

会津西街道を羽塩で左折し 352 号線に入ると中山峠を越えて内川に抜けられる。352 号線をしばらく進み、会津滝の原から旧中山峠への道に入って見る。ロードマップには細かい線で載っているのに、車で抜けられるのか否か自信がないままに入って見たら無事入ることができた。車高があまり高くないブルーバードにはちょいと申し訳ないが、所々が舗装されている程度の道をなんとかクリアしてくれた。

**旧中山峠**の見晴らしの良さそうところで休憩と散策。

地図を見ると中山峠から北西に下った所に「沼の平」と書かれた湿原マークがある。見下ろすと三角山の左手の林の中に平坦な場所が見える。地図上には破線の道があり、七ヶ岳まで通じている。

**沼の平湿原**をめざして踏み跡を辿ってみたが、三角山の登りの熊笹の中で見失ってしまい断念。

峠近くの伐採地の一角に「弘法の泉」と書いた湧水の水場があった。実に冷たくて美味しい水で、ここでまた大休止ということになった。水場の周辺は山ぶどうの宝庫、たつぷりと実を付けてはいるがまだ季節が少々早かった。目の前に門倉山の岩峰が、いい形で立っている。

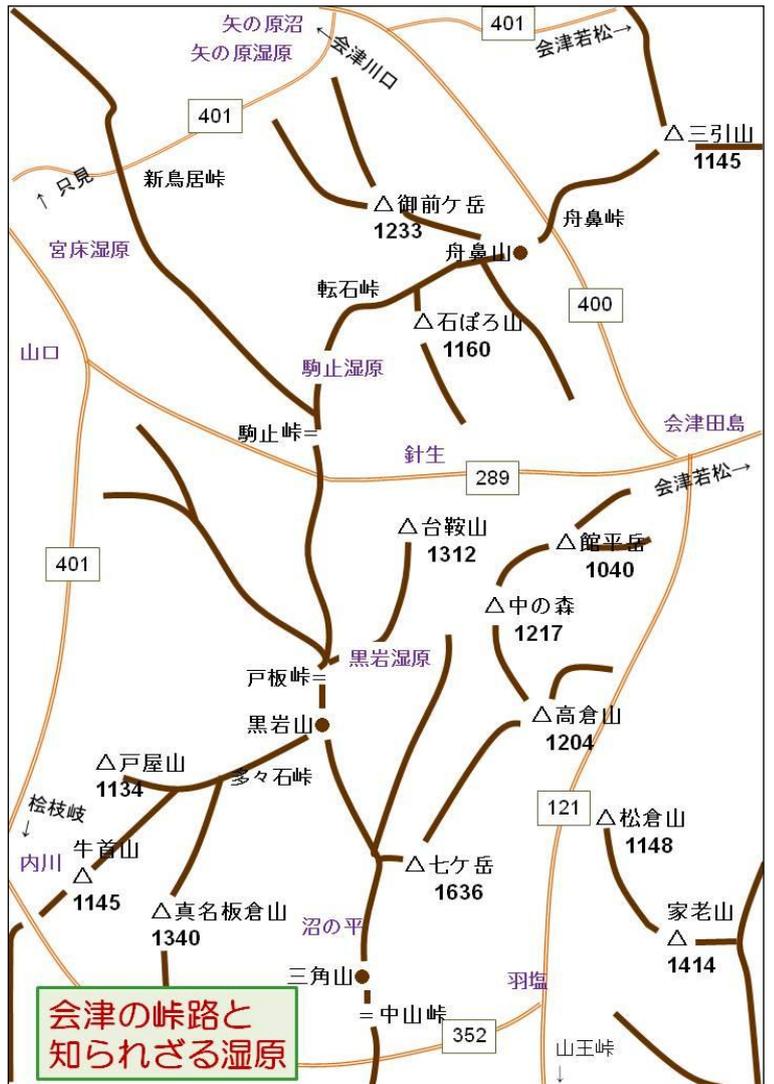
羽塩に下って会津田島で左折し、国道 289 号線を西へ。国道の両側に広がる田圃の豊かな実りが美しい。檜沢川に沿った広く明るい平地が広がる。

**針生**（はりゅう）の集落に「青少年旅行村」と書いた看板が見えたので、民宿を見つけて声をかけてみた。万久（ばんきゅう）という曲り家を改造した宿で、屋根裏部屋（と言っても普通の家の二階と同じ）をとってくれた。旦那さんと奥さんと老婆の三人で切り盛りしているこの宿、家族のような親しみを持って接して下さり、「秋にはキノコ採りにでも来なさい」と言う話にまで発展。

付近の集落の佇まいを散策して楽しんだ。会津の山へ来たという雰囲気夕食で一泊を楽しむことができた。

平成3年8月26日

すっかり親しくなってしまった宿の婆ちゃんとうちゃん・かあちゃんに別れを告げて出発。



## 踏 み 跡 <My Mountains>

今日の最初のターゲットは「**駒止峠**」と「**駒止湿原**」。まずは赤穂原川に沿った旧道を駒止峠へ。国道にトンネルができたことで「旧道」というタイトルがついてしまったが、適度なサイズで景色も楽しめる良い道だ。

駒止湿原は大谷地・白樺谷地・水無谷地の三つの湿原からなっており、それぞれの湿原にはそれぞれの世代の相違があるようで、色々な植物が見られる。木道の巡回路が設けられており、しかも尾瀬のように行列になるほどの客が来ているわけでもないのゆつたりと楽しむことができる。たっぷり時間をかけて散策と観察を楽しんだ。地図を見ると、駒止峠から舟鼻山にかけての起伏の少ない長い稜線にはいたるところに湿原が点在しており、注目に値する。

針生に戻り駒止トンネルを抜けて山口へ。次のターゲットは「**戸板峠**」と「**黒岩湿原**」。

伊南村の古町という集落から戸板峠に向かう林道は、入口に「過疎地対策事業」という看板が立っている心細い林道で、舗装どころか荒削りのままで迫力のあるオフロード走行が楽しめる。我が愛車ブルーバードではハンドルさばきがうまくできないとすぐに接地してしまう。時々ガリッと怪しげな音を立てながら進む。道路の凹凸もさることながら、か細い道の両側から飛び出した植物がボディを撫でまわして、まるで細いトンネルをくぐっているような状況が続く。山ぶどうとサルナシが至る所に実を付けて垂れ下がり興奮。

戸板峠には「古町へ 11.1Km 針生へ 9.2Km」と書いた標識があるが、地べたに置いてあるだけだった。

ここは海拔 1300m ぐらいだろうか、冷たい水が流れる水場と平坦地がありテントを張って一泊したくなるような好条件の場所だ。ここから東へ斜面を下ると「黒岩湿原」に行けるはず。地図と磁石を頼りに道を探したが、踏み跡すら残っていない。これまた断念。峠を越えれば針生に戻ることも可能だが、愛車の安全のために古町へ戻ることにした。

帰路は、南会津の心地よい風景を楽しみながら往路と同じルートに戻った。

走行距離は 642Km、車高が高く悪路走行に強いRVが欲しいなと思った旅だった。

以上

